

《 記入例 》

医 師 届 出 票 H28 医

(平成28年12月31日現在)

第二号書式(第六条関係)

(1) 住所	〒 1 1 1 - 2 2 2 2 東京 〇〇区 △△△ 1丁目 2番 3号	
(2) 氏名	厚 労 太 郎	電話 市外局番 (0 3 - 1 2 3 4 - 5 6 7 8)
(3) 性別	① 男 ・ 2 女	(4) 生 年 月 日 1 平成 25年 10 月 15 日 2 昭和 3 大正 4 明治
(5) 医 籍 登 録 番 号	第 2 3 4 5 6 7 号	(6) 医 籍 登 録 年 月 日 1 平成 52年 4 月 3 日 2 昭和 3 大正 4 明治
(7) 従事している施設及び業務の種別		
回答欄	施設の種別	業務の種別
01~17のうち1つを記入すること。 主たる施設・業務の種別(1つ) 07	診療所 01 診療所の開設者又は法人の代表者 02 診療所の勤務者 病院 (医育機関附属の病院を除く。) 03 病院の開設者又は法人の代表者 04 病院の勤務者 医育機関 (医学部を有する大学又はその附属機関) 05 医育機関の臨床系の教官又は教員 06 医育機関の臨床系の大学院生 07 医育機関の臨床系の勤務者で05及び06以外の者(医員、臨床研修医、その他) 08 医育機関の臨床系以外の大学院生 09 医育機関の臨床系以外の勤務者で08以外の者(教官、教員、その他)	01 診療所の開設者又は法人の代表者 02 診療所の勤務者 03 病院の開設者又は法人の代表者 04 病院の勤務者 05 医育機関の臨床系の教官又は教員 06 医育機関の臨床系の大学院生 07 医育機関の臨床系の勤務者で05及び06以外の者(医員、臨床研修医、その他) 08 医育機関の臨床系以外の大学院生 09 医育機関の臨床系以外の勤務者で08以外の者(教官、教員、その他)
従たる施設・業務の種別(1つ) 02	介護老人保健施設 10 介護老人保健施設の開設者又は法人の代表者 11 介護老人保健施設の勤務者 上記以外の施設 12 医育機関以外の教育機関又は研究機関の勤務者 13 行政機関の従事者 14 12及び13以外の産業医 15 上記以外の保健衛生業務の従事者 その他 16 その他の業務の従事者 17 無職の者	
(8) 主たる従事先 (7)欄の「主たる施設・業務の種別」に01~15のいずれかを記入した場合の従事先について記入すること。		
ふりがな	〇〇だいがくいがくぶふぞく△△びょういん	電話
名称	〇〇大学医学部附属△△病院	市外局番 (0 3 - 2 3 4 5 - 6 7 8 9)
所在地	〒 3 3 3 - 4 4 4 4 東京 〇〇市 △△区	
(9) 従たる従事先 (複数の施設に従事している場合、(7)欄の「従たる施設・業務の種別」に01~15のいずれかを記入した場合の従事先について記入すること。)		
ふりがな	□□くりにつく	電話
名称	□□クリニック	市外局番 (0 3 - 3 4 5 6 - 7 8 9 0)
所在地	〒 5 5 5 - 6 6 6 6 東京 〇〇市 □□区	
主たる従事先の状況 (以下の(10)~(12)欄は、(7)欄の「主たる施設・業務の種別」に01~05、07及び09~15のいずれかを記入した者のみが記入すること。)		
(10) 就業形態	1・2いずれかを○で囲むこと。 1 常勤 ② 非常勤 ※「常勤」とは原則として施設で定めた勤務時間のすべてを勤務している者(ただし、勤務時間が1週間あたり32時間未満の者は含まない)。「非常勤」とは「常勤」以外の者。	
(11) 主たる業務内容	最も長時間従事している業務内容の番号を○で囲むこと。 ① 診療 2 教育・研究 3 管理 4 産業医業務 5 その他	
(12) 休業の取得	以下を取得中の者は番号を○で囲むこと。 1 産前・産後休業 2 育児休業 3 介護休業	

郵便番号は必ず記入します。
住所は都道府県から、番地又は番号まで正確に記入します。

免許証に記載されている氏名を正確に記入します。
婚姻等により戸籍上の氏名は改姓したが、医籍上の改姓をしていない場合は、戸籍上の氏名を記入し、「備考」欄に「医籍の氏名変更申請中」等と記入します。

複数の施設に従事している場合で2番目に長時間従事している施設について記入します。
複数の施設に従事していない場合は、無記入とします。

(7)欄の「主たる施設・業務の種別」で01~15を記入した場合は、必ず記入してください。

(7)欄の「従たる施設・業務の種別」で01~15を記入した場合は、必ず記入してください。

(7)欄の「主たる施設・業務の種別」で01~05、07及び09~15を記入した場合は、必ず記入してください。

免許証に記載されている登録番号、登録年月日を記入します。登録番号は右詰めで記入します。
(例)第1234号→第001234号

免許証を再交付された場合、「登録年月日」欄に再交付年月日を記入しないよう注意してください。

誤って記入した場合、横線を2本引いて抹消し、上部余白に正しい事項を記入します。(訂正印は不要)

複数の施設に従事している場合は、「主たる施設・業務の種別」と、2番目に長時間従事している施設について「従たる施設・業務の種別」に記入した届出票を1枚提出してください。

「医育機関」は、医学部を有する大学又はその附属機関に勤務している場合に選択します。
医学部を有していない大学やその附属病院等に勤務している場合は、「04 病院の勤務者」又は「12 医育機関以外の教育機関又は研究機関の勤務者」を選択します。
(例)看護系の大学、医療系の大学等

郵便番号は必ず記入します。
所在地は、市・区・町村名まで記入します。

雇用形態に関わらず、施設で定めた勤務時間(所定労働時間)のすべてを勤務しているか否かで常勤・非常勤を区別します。施設で定めた勤務時間が週32時間未満の場合は非常勤とします。

平成28年12月31日現在休業を取得中の場合は、該当する番号を○で囲みます。

(7)欄で01~07を選択した場合は、必ず記入してください。
 複数の診療科に従事している場合には、従事している診療科すべての番号で囲みます。該当する診療科名がない場合は、最も近い診療科名の番号で囲みます。
 臨床研修医の場合は、「40 臨床研修医」のみを○で囲みます。

01~56までの広告可能な医師の専門性に関する資格又は57の麻酔科標榜資格を取得している場合は、該当するすべての番号を○で囲みます。

01~82までの該当する番号を必ず1つ○で囲みます。
 修了した大学院名等の番号を○で囲まないよう注意してください。

歯科医師又は薬剤師免許を併せ有する場合は、その旨を明記してください。
 (例)「歯科医師免許併有」、
 「薬剤師免許併有」

婚姻等により氏名の変更申請中の場合は、その旨を明記してください。
 (例)「婚姻により改姓」、
 「医籍の氏名変更申請中」等

その他、記入事項に説明を要すると思われる事項を明記してください。

(13) 従事する診療科名等 従事するすべての診療科名の番号を○で囲むこと。また、2つ以上○で囲んだ者は右欄に主たる診療科名の番号を1つ記入すること。 臨床研修医の場合、「40 臨床研修医」のみを○で囲むこと。 該当する診療科名がない場合、最も近い診療科名の番号を○で囲むこと。	(7)欄の「主たる施設・業務の種別」に01~07のいずれかを記入した者のみが記入すること。				
	I	01 内科 04 消化器内科(胃腸内科) 07 糖尿病内科(代謝内科) 10 アレルギー科 13 小児科	02 呼吸器内科 05 腎臓内科 08 血液内科 11 リウマチ科 14 精神科	03 循環器内科 06 神経内科 09 皮膚科 12 感染症内科 15 心療内科	
	II	16 外科 19 乳腺外科 22 泌尿器科 25 整形外科 28 眼科 31 産婦人科	17 呼吸器外科 20 気管食道外科 23 肛門外科 26 形成外科 29 耳鼻いんこう科 32 産科	18 心臓血管外科 21 消化器外科(胃腸外科) 24 脳神経外科 27 美容外科 30 小児外科 33 婦人科	
	III	34 リハビリテーション科 37 病理診断科	35 放射線科 38 臨床検査科	36 麻酔科 39 救急科	
	IV	40 臨床研修医	41 全科		
V	42 その他 ()				
(14) 取得している広告可能な医師の専門性に関する資格名及び麻酔科の標榜資格 取得しているすべての資格名の番号を○で囲むこと。	医療法に基づいて広告することが可能とされている医師の専門性に関する資格及び麻酔科の標榜資格(麻酔科標榜医)を指す。専門性に関する資格は更新制であるため、現時点で資格を取得しているかどうかを確認の上記入すること。なお、「認定医」は広告可能な資格ではないことに留意すること。				
	I	01 総合内科専門医 04 精神科専門医 07 産婦人科専門医 10 泌尿器科専門医 13 麻酔科専門医 16 形成外科専門医	02 小児科専門医 05 外科専門医 08 眼科専門医 11 脳神経外科専門医 14 病理専門医 17 リハビリテーション科専門医	03 皮膚科専門医 06 整形外科専門医 09 耳鼻咽喉科専門医 12 放射線科専門医 15 救急科専門医	
II	18 呼吸器専門医 21 腎臓専門医 24 糖尿病専門医 27 アレルギー専門医 30 心療内科専門医	19 循環器専門医 22 肝臓専門医 25 内分泌代謝科専門医 28 リウマチ専門医	20 消化器病専門医 23 神経内科専門医 26 血液専門医 29 感染症専門医		
III	31 呼吸器外科専門医 34 気管食道科専門医 37 超音波専門医 40 老年病専門医 43 漢方専門医 46 核医学専門医 49 ペインクリニック専門医 52 がん薬物療法専門医 55 小児神経専門医	32 心臓血管外科専門医 35 消化器外科専門医 38 細胞診専門医 41 消化器内視鏡専門医 44 レーザー専門医 47 大腸肛門病専門医 50 熱傷専門医 53 周産期(新生児)専門医 56 一般病院連携精神医学専門医	33 乳腺専門医 36 小児外科専門医 39 透析専門医 42 臨床遺伝専門医 45 気管支鏡専門医 48 婦人科腫瘍専門医 51 脳血管内治療専門医 54 生殖医療専門医		
(15) 医師免許取得の際に医学課程を修めた大学名等 大学名等の番号を1つ○で囲むこと。(修了した大学院名等の番号を○で囲まないこと。) 大学の再編・統合・改称により、医師免許取得の際に医学課程を修めた大学名が選択肢にない場合、再編・統合・改称が行われた後の大学名の番号を○で囲むこと。	国立	01 北海道大学 05 秋田大学 09 千葉大学 13 富山大学 17 信州大学 21 三重大学 25 神戸大学 29 広島大学 33 愛媛大学 37 長崎大学 41 鹿児島大学	02 旭川医科大学 06 山形大学 10 東京大学 14 金沢大学 18 岐阜大学 22 滋賀医科大学 26 鳥取大学 30 山口大学 34 高知大学 38 熊本大学 42 琉球大学	03 弘前大学 07 筑波大学 11 東京医科歯科大学 15 福井大学 19 浜松医科大学 23 京都大学 27 島根大学 31 徳島大学 35 九州大学 39 大分大学	04 東北大学 08 群馬大学 12 新潟大学 16 山梨大学 20 名古屋大学 24 大阪大学 28 岡山大学 32 香川大学 36 佐賀大学 40 宮崎大学
	公立	43 札幌医科大学 47 京都府立医科大学 51 岩手医科大学 55 杏林大学 59 帝京大学 63 東邦大学 67 東海大学 71 藤田保健衛生大学 75 兵庫医科大学 79 産業医科大学	44 福島県立医科大学 48 大阪市立大学 52 自治医科大学 56 慶應義塾大学 60 東京医科大学 64 日本大学 68 聖マリアンナ医科大学 72 大阪医科大学 76 川崎医科大学 80 防衛医科大学校	45 横浜市立大学 49 奈良県立医科大学 53 獨協医科大学 57 順天堂大学 61 東京慈恵会医科大学 65 日本医科大学 69 金沢医科大学 73 関西医科大学 77 久留米大学 81 外国の医学校	46 名古屋市長市立大学 50 和歌山県立医科大学 54 埼玉医科大学 58 昭和大学 62 東京女子医科大学 66 北里大学 70 愛知医科大学 74 近畿大学 78 福岡大学 82 その他
(16) 本届出票の活用に対する確認	各都道府県における医師確保対策の検討等に活用するため、本届出票に記載した情報の全部又は一部を、住所地の都道府県及び従事先の所在地の都道府県が利用することに同意しない場合には、右欄に○を付けること。				
	<input type="checkbox"/> 同意しない場合				
(17) 備考	歯科医師免許併有				

従事する診療科が2つ以上ある場合は、そのうち主たる診療科の番号を1つ、2桁で記入します。

同意する場合は無記入とします。